

ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
 こども育成課
 ~街とともに 未来を育む 人づくり~

野菜で元気！栄養・彩り満点メニュー！！



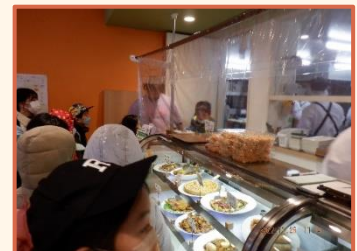
野菜でつながる「私たちの地域」「食の大切さ」



札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、地域と子どものつなぎ手として、子どもたちが地域と一緒に感受性を育む体験活動を大切にしています。今回は、子どもたちが食について考えた「ファームクラブ」(札幌市北光児童会館)の様子をお伝えいたします。



JA さっぽろのみなさんから、ひと夏通して野菜を美味しく栽培するコツを学びました。



子どもたちが考えたメニューが手作りPOPと並びます。お店の方からの「とても人気だよ。美味しく作るよ」の声に笑顔があふれました。

札幌市北光児童会館では、子どもたちが食の大切さや栄養と食事、そして健康について学ぶ「ファームクラブ」を行っています。

今年の活動は、5月の土づくりから始まり、栽培、収穫、そして育てた野菜を使ってのメニュー開発、12月に店頭と並び販売するまでの食育体験をNPO法人Efy、JA さっぽろ・JA 北海道の協力を得て実施しました。

ミニトマト、人参、枝豆、サツマイモの4種をJA さっぽろのみなさんにアドバイスを受けながら会館の畑で栽培し収穫をしました。9月には、近郊にある野菜苗の出荷農場へ赴き、トラクター耕耘など農業体験をしました。直接、農家の方から話を聞くことで、子どもたちは、農業という職業としてのやりがいや大変さを学ぶとともに、自分たちと食のあり方を考え巡らせていました。

育てた野菜から着想を得て、栄養や味付け、彩りをEfyのみなさんと一緒に考えたメニューは「トマツナサラダ」「人参チーズ春巻」「枝豆チキンライス」「さつたま」(さつまいも入り卵焼き)の品々になり、会館近くの就労継続支援型カフェ「ぷちりーべ」の店頭と並びました。(販売期間終了)

今回の体験が、子どもたちにとって「食」×「地域の力」を考え、自ら行動していくヒントになっていくことを期待しています。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、地域の交流施設として、子どもたちが「地域へ愛着・郷土愛を持ち、未来を担っていく」児童会館運営を行っています。児童会館では、子どもたちが地域の持つ力を体験し、つながりをもって学び、成長していく機会を提供していきます。



<(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.jp TEL011-671-4121
 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
 <HPアドレス> <http://g-kan.syaa.jp>

